

## 令和2年度 第3回東京都サービス管理責任者等研修検討会 議事録【要旨】

日時 令和2年10月30日（金曜日）午後3時から午後4時30分まで

会場 飯田橋レインボービル 1階CD会議室

出席者 吉川委員長、奥秋副委員長、秋谷副委員長、宮田副委員長、浅野委員、三瓶委員、相良委員、小出委員、会田委員、久保委員、樋口委員、渡辺委員、橋爪委員、犬飼委員、清水委員

事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長 森下 他3名  
公益財団法人総合健康推進財団職員 1名

### 1 開会

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"><li>資料確認<br/>次第<br/>資料1 令和2年度サービス管理責任者等指導者養成研修会（国研修）受講報告<br/>資料2 各研修チーム活動スケジュール<br/>参考資料 令和2年度東京都サービス管理責任者等研修演習指導者養成研修（1日目）資料</li><li>本日は、記録のための録音をさせていただきこと、また、今回の検討会議事録（要旨）は、ホームページでの公開対象であることについてご了承いただきたい。ただし、資料については、出席委員の意見により非公開とすることもできる。</li></ul> |
|-----|---|

### 2 議事確認

|       |  |
|-------|--|
| 吉川委員長 | <ul style="list-style-type: none"><li>本日の議事について確認する。</li><li>1点目は、9月に開催された厚生労働省主催サービス管理責任者等指導者養成研修会の受講報告をいただきたい。</li><li>2点目は、各チームに分かれて、それぞれの研修プログラムについて検討をいただきたい。</li></ul> |
|-------|--|

### 3 検討事項

#### （1）令和2年度サービス管理責任者等指導者養成研修会（国研修）受講報告

|       |   |
|-------|---|
| 吉川委員長 | <ul style="list-style-type: none"><li>研修の概要と受講状況について事務局より説明をいただきたい。</li></ul>   |
| 事務局   | <ul style="list-style-type: none"><li>今年度の国研修は、9月17日と18日の2日間で実施した。従来の集合型の研修ではなく、動画配信による講義を視聴した上でZoomによる双方向通信型の研修であった。</li><li>サービス管理責任者等研修の企画担当として宮田委員と事務局が受講した。なお、動画配信部分については、実践研修チームの委員の皆様にも視聴していただいた。</li><li>今年度は、専門コース別研修部分として意思決定支援についても研修があり、こちらについては相談支援従事者研修検討会の藤田委員と事務局が受講した。</li></ul> |

|        |   |
|--------|---|
| 吉川委員長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講された宮田委員、実践研修部分の動画を視聴された、渡辺委員、樋口委員、小出委員、浅野委員、最後に事務局からの報告をいただきたい。</li> </ul>  |
| 宮田副委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前半の講義と演習の部分は全て参加し、情報交換は Zoom での参加となった。演習部分はカリキュラム時間全ての実施ではなく、全体としてコンパクトな印象であった。</li> <li>・プログラム 1 から 3 までは、研修のガイダンスやサビ管・児発管についてといった演習にはない内容であった。</li> <li>・プログラム 4 から 1 2 まだが、実践研修の内容であったが、今回の研修は企画の一例であることが強調されていた。</li> <li>・サビ管・児発管についての講義とシンポジウムについては、講義はサビ管・児発管の役割、シンポジウムは困難ケースに対する実践例が話され、チーム力が大切なこと、その中でサビ管・児発管の役割が重要であることが強調されていた。</li> <li>・事業所は社会資源であり、地域連携が大切ということも前面に出されていた。</li> <li>・プログラム 4 は人材育成についての内容であったが、シンポジウム形式で研修の導入という感じだった。人を育てる役割がサビ管・児発管にはあり、信頼関係を築くためにはコミュニケーションをとることが大切。人を育てるためには力量や知識が必要という内容であった。</li> <li>・プログラム 1 3 から 1 6 では、他自治体の方との情報交換を行った。基礎研修、更新研修、実践研修、新型コロナウイルス感染症対策と分けて話をした。</li> <li>・基礎研修は、Zoom を使ってオンラインで実施し好評という自治体もあった。ただし、オンラインで実施する場合の受講確認をどうするのかといった話も出ていた。</li> <li>・更新研修については、春に実施する予定が新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった自治体が多かった。受講者の経験に幅があることから内容の精査が必要。国研修の資料を変えて使っているという声もあった。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の対策は、オンラインでの実施で不具合が生じた時、どのようにヘルプを出すのか、Google スプレッドシートを使用しているといった話があった。</li> <li>・ファシリテーターについては、どこも人材不足の様子だった。</li> <li>・実践研修については、今回、オンラインで実施しているのでプログラムの内容がかなり縮小されていて、イメージがしにくかった、実際のワークにどのくらい時間がかかるのかがイメージしにくかったといった声があった。</li> <li>・サビ管・児発管の講義とシンポジウムは、実践研修のカリキュラムに入っていない部分だが、受講者の実務経験を考えると一つのロールモデルとしてこの内容を扱うのもよいかと思う。</li> <li>・制度については、制度だけで時間をとり説明してもよいし、または、演習の中に取り込んでよいという話があったが、基礎研修からの経験のバラつきがある中で、新しい制度をどこまで伝えるのかを考える必要があると感じた。</li> <li>・人材育成については抽象的だと感じた。実際にやってみるような内容があれば</li> </ul> |

|      |   |
|------|---|
|      | よい。大枠だけの提示では難しいと感じた。  |
| 渡辺委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム5「障害福祉政策（児童福祉政策）の最新の動向」を担当した。本来であれば、講義の動画を視聴した上で報告書をまとめるところだが、配信元の都合により配信が中止されてしまったため、資料を基にして報告書を作成した。</li> <li>・全分野が統合された研修となっていることで情報量が多いと感じた。60分の講義時間で収まるのか心配される。</li> <li>・内容を絞り込む必要はあり、予算や報酬などの具体的な部分や就労支援、医療的ケアなど、どこまで入れていくのかを検討する必要があると感じた。</li> <li>・講義で得た知識を演習の中で関連づけて考えられると、受講者は理解しやすいのではないかと感じた。</li> <li>・プログラム6「モニタリングの方法」は、事例を通じてモニタリング演習をする。演習により支援者自身の自己覚知を促し、それを支援に活かすという内容だが、実際の研修でどのように取り入れるのか、まだまだ掘り下げなくてはならないと感じた。個人ワークで自分を見つめ、グループワークで確認という流れだったが、内発的動機を引っ張り上げて、それを支援に活かすことと、どうリンクさせるかが課題になってくるのではないかと感じた。</li> </ul>  |
| 樋口委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画の視聴ができず、資料を基にして報告書を作成した。</li> <li>・プログラム7「個別支援会議の運営方法」は、プログラム6の続きであり、モニタリングしたことをどのようにして会議にもっていくかということを考える科目であった。</li> <li>・支援内容や方法を段階的に捉えること、チームアプローチ、個別支援会議の意義、進行方法等、支援会議の合意形成をどう図っていくか。</li> <li>・グループワークの事例は、病気になり事業所を休んでいた利用者が、復帰後トイレにこもりがちになってしまう。この利用者の状況について、支援者が「本人がこもるならそれでいいよね」と思ってしまう。そこへ新しく来たサビ管が、状況を見立て、支援をどのように変えていけばよいのか、利用者との関係構築、会議の中での職員教育、人材育成について考えるための具体的なセッションを組んでいくといった内容であった。個人的には面白そうだと感じた。</li> <li>・支援会議のロールプレイでは、積極的な支援員など様々な役割が設定されており、役になりきって会議をすることになるため、国研修の内容のまま実施するのも面白そうと思った。</li> <li>・プログラム8「サービス提供職員への助言指導について」は、人材育成を強調しているが、抽象度が高い内容だと感じた。</li> <li>・職員と話せる時間を作り指導をしていかなければ利用者への虐待につながる。サビ管・児発管は職員とコミュニケーションを取ることが大事ということはあるが、具体的なことが書かれていないので、都でやるときには具体的な実践例が必要だと思った。</li> <li>・人材育成とそれともなうコミュニケーションという2つの題材に対して、ど</li> </ul> |

|      |   |
|------|---|
|      | <p>のように日常的に助言指導をするのか、事業所の中の体制作りや職員同士のコミュニケーションの取り方について、具体例が示せるとよいと感じた。</p>  |
| 小出委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部動画の視聴ができず、資料を基にして報告書を作成した。</li> <li>・プログラム9「実地教育としての事例検討会の進め方」は、模擬実演を行っていた。</li> <li>・各事業所から受講者が事例を持ち寄る形で実施する設定となっており、事例を共有することを大切にしていた印象がある。グループファシリテーターは、ケースレビューを必ずまとめていた。</li> <li>・グループは7～9名で構成し、受講者の提出した1～3事例について、1事例につき30～70分程度を検討すると資料には書かれていたが、実際に東京都で実施する際には、この構成は変えたほうがよいと感じた。</li> <li>・事例検討会を始める前に、日頃の業務を振り返るための個人ワークや講義を行い、大切なことを踏まえた上で、事例検討会を進めていかなければまともなまま終わってしまう可能性がある。フレームを作るのが重要だと思った。</li> <li>・いろいろな事業種別の受講者でグループ編成したほうが、ライフステージに乗った形でいろいろな角度から意見が出るのではないかと思った。</li> <li>・プログラム10「サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者（児童発達支援管理責任者）の役割」では、日頃の業務を振り返る内容。演習の中でワークシートも使っていた。</li> <li>・資料には、サービス担当者会議のほうが強調して書かれていたので、個別支援計画作成する時の会議など、もう少し、サビ管・児発管に視点をおいてテキスト構成したほうがよいのではないかと感じた。</li> <li>・サビ管・児発管が相談支援専門員にアクセスすることも大事、連携していくのだということを確実に伝えた方がよいと思った。</li> <li>・この項目だけ突然、相談支援専門員の業務の方にボリュームがあるように感じた。</li> <li>・サビ管・児発管が立ち位置を確認できるように、サビ管・児発管、相談支援専門員、自立支援協議会との関係性についてテキストに書かれているとよいと感じた。</li> <li>・この科目でも、ライフステージに沿った役割を説明していた。ステージによって関係者も変わっていくため、国研修の内容をそのまま都研修資料に採用できるとよい。内容は地域性もあるため加筆してもよい。</li> </ul> |
| 浅野委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料抜粋で報告書をまとめた。</li> <li>・プログラム11「（自立支援）協議会を活用した地域課題の解決に向けた取組」では、ほとんどの内容が「地域生活支援拠点とは何か」の説明に留まっていた印象がある。</li> <li>・どのように協議会を通し、ネットワークの中で困難事例を解決していくのか、仕組みがとても重要であり、サビ管・児発管はネットワークでの取り組みに主体的に参加させることが大切ということであった。</li> <li>・「多機能拠点」「面的整備型」のどちらも必要であるということ、「地域の事業所</li> </ul>   |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>としての連携が求められているのだから、自分の地域に拠点があるからといって、そこに困難事例をまかせてしまうのではなく、ネットワークの中での取り組みにどれだけ参加していけるかを考えてほしい」といったメッセージであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム 12「サービス担当者会議と（自立支援）協議会についてのまとめ」は、それらを自分の地域に落とし込んだ場合どうかというところをグループワークで共有していく流れとなっている。</li> <li>・実際にサービス担当者会議や協議会に参加していない、地域の中で体感していない受講者がいる中で、自分の地域は関係ないというのではなく、可能性としてどんなアクションができるのかといった前向きな捉え方をしてもらえそうな内容にしていくことが、研修作りの課題であると感じた。</li> </ul>  |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修運営、企画担当として報告をする。</li> <li>・基礎研修・実践研修・更新研修は昨年度の実施要綱から変更ないため、都が今年度実施する基礎研修・更新研修はこのまま実施していくことになる。</li> <li>・来年度の国研修は、基礎研修・実践研修について情報交換を行うこと、また、更新研修は後半部分のスーパービジョンの詳細な展開方法を伝達する予定</li> <li>・専門コース別研修については、カリキュラムの改定が予定されており、状況を見ながら新たなコースの内容を伝達する予定</li> <li>・国研修では、「サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者」を「サビ児管」と統一していた。資料が「サビ児管」と記載されているため、都研修で国資料を使用する場合は、略称も検討する必要がある。</li> <li>・今回の研修は、企画の例として、科目のねらいや演習の展開方法を解説した上で、演習のデモをしたが、実際の時間を半分くらいに短縮した内容となっており、一度見ただけでは理解することが難しいと感じた。</li> <li>・実践研修が増えることにより、研修協力者も増やさなければならない。いろいろな団体や相談支援関係の団体も活用し、協力者を増やしてほしいとあった。都でも演習指導者養成研修を実施しているが、来年度研修が増えるにあたって、様々な方面に協力を求めていかなければならないと改めて思った。</li> <li>・今回の研修の Zoom による双方向で行う部分は、全体会からグループに分かれるブレイクアウトセッションで情報交換を行った。グループに移動するための名簿の登録が崩れてしまい、再設定のためかなり長い時間待つことになった。再設定されたメンバーが全員揃っているのかわからず、無言でいる時間が長くなり、自治体職員向けの意見交換の時間は 10 分程度となってしまい残念であった。</li> <li>・Zoom を使った研修はトラブルなくできれば非常に有効だが、事務局としては壁が高いと感じた。</li> <li>・実践研修の標準カリキュラムが 14.5 時間となっており、通常では 2.5 日かかる研修内容になる。3 日間での実施を検討している自治体もあったが、都が実施する他研修とのスケジュールを考えると、2 日間で実施したいと考えている。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止策として講義部分を動画配信しているが、実践研修についても講義の動画配信を含めて検討していきたい。</li> </ul> |

|       |  |
|-------|--|
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国研修で例として実演していた演習では、ファシリテーターがグループの進行役となり、受講者が発言した内容をファシリテーターがまとめて伝えるような進め方であった。都で実施している基礎研修・更新研修の進め方やファシリテーターの人数も考えて内容を検討していかなければならないと思った。</li> <li>・専門コース別研修を受講された自立生活センター日野の藤田委員と事務局の報告については、資料をお読み取りいただきたい。</li> </ul> |
| 吉川委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでのところで質問があればいただきたい。</li> <li>・質問がないため、国研修の受講報告は以上とする。</li> </ul>  |

## (2) 令和2年度研修年間スケジュールと実施方法について

|       |   |
|-------|---|
| 吉川委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各研修の実施状況と教材作成等の進捗状況について、事務局より説明をいただきたい。</li> </ul>  |
| 事務局   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回基礎研修は、本日、J日程を実施している。これで、全日程終了となる。</li> <li>・第2回基礎研修は、11月6日から講義動画配信。11月24日から演習が始まる。</li> <li>・演習指導者養成研修は、1日目を10月28日に実施した。ファシリテーターの基礎については、今年度も藪田雪子さんにご講義をいただいた。また、三瓶委員と清水委員からも基礎研修についてご講義をいただいた。今年度は10名が受講。第2回基礎研修のファシリテーターを担っていただく。</li> <li>・更新研修については、現在、申込受付中。11月4日締切り。1月6・7日が講義動画配信。1月12日から演習が始まる。</li> <li>・フォローアップ研修は、動画配信により実施することとなった。募集に向けて、第1回基礎研修修了者と第2回基礎研修受講決定者へチラシを配布する。申し込み開始は12月9日。動画配信は2月24日から2月26日の3日間の予定</li> <li>・次に各研修準備の進捗状況を報告する。</li> <li>・基礎研修については、第1回基礎研修実施を踏まえ、第2回基礎研修に向けての修正点の確認をしていく。11月9日のファシリテーター説明会のタイムスケジュールや説明方法の確認をする。</li> <li>・実践研修は、教材作成に向けて具体的な作業に入る。</li> <li>・更新研修は、演習ノートが最終確認の段階であり、今後は進行スライドの作成に入る。</li> </ul> |
| 吉川委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局からの説明について、質疑応答をいただきたい。</li> <li>・質疑はないため、各研修の進捗状況を踏まえて、各研修チームの検討時間としたい。</li> <li>・16時15分から各チームの報告の時間とする。</li> </ul>  |
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームごとに検討（記録省略）</li> </ul>   |
| 吉川委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各研修チームリーダーから検討内容の報告をお願いしたい。</li> <li>・基礎研修について、基礎研修チームリーダー奥秋副委員長から報告をいただきたい。</li> </ul>   |

|        |   |
|--------|---|
| 奥秋副委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回基礎研修に向けて、全体の構成について犬飼委員と橋爪委員から提案があり、それぞれの担当の部分に反映し修正していくことになった。</li> <li>・今回は、個人ワークが多かったので、できる限り受講者の発表の時間を増やすことを考えている。犬飼委員が教室進行をした日程では、受講者全員が発表したと聞いた。</li> <li>・進行スライドの修正については、話し合いを持つ時間がないため、演習担当者が11月4日までに修正することになった。</li> <li>・11月9日のファシリテーター説明会については、60名程度が参加予定であり、新人ファシリテーターも参加するため、演習全体の説明と、演習2と演習5では実演を入れていこうと考えている。</li> </ul> |
| 吉川委員長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・更新研修について、更新研修チームリーダーの秋谷副委員長から報告をいただきたい。</li> </ul>  |
| 秋谷副委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月12日から研修に向けて、演習ノートの最終調整をしてきた。</li> <li>・12月25日のファシリテーター説明会については、本日、話し合いができなかったため、別途、打合せを設定する。</li> <li>・研修内容については、今年度はグループワークがないため、発表の時間を増やすことや、ファシリテーターの皆さんの力を借りて、全体で共有する時間を設けていきたいと考えている。</li> <li>・講義を動画配信するが、事前課題についても工夫していきたい。</li> </ul>   |
| 吉川委員長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践研修チームについては、実践研修チームリーダーの宮田副委員長から報告をいただきたい。</li> </ul>  |
| 宮田副委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の国研修を経て、実践研修を受講したサビ管・児発管像について再度整理した。</li> <li>・現在のサビ管・児発管像では「支援の質を向上できる」となっているが、国研修では、マネジメントや人材育成というところが協調されていたので、「事業所内も地域も含めて、支援の質を高めるチーム作りができる」といった形で修正していきたいと考えた。</li> <li>・今後は、演習部分を2日間で実施できるよう事務局が研修プログラム案を作成する。その後、チームメンバーが企画を考え、演習ノートの作成を3月末までに行う。本日は執筆担当者まで決めた。</li> </ul>   |
| 吉川委員長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・以上で本日の議事について検討を終了したので、閉会とし、事務局へ返す。</li> </ul>   |
| 事務局    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の議事録（要旨）は、委員に確認していただいた上、11月末頃にホームページに掲載予定</li> <li>・第4回サービス管理責任者等研修検討会について<br/>日時：3月8日（月曜日）15時から16時30分まで<br/>会場：家の光 7階 コンベンションホール</li> </ul>  |

### 3 閉会